



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

収穫あとのジャンボタニシ対策

昨年、暖冬の影響からか田植え後にジャンボタニシの発生が多くみられました。
ジャンボタニシは、収穫あとも活動し、圃場や水路の土溜まりなどで越冬し、翌年の春先に活動を再開します。
そのため、収穫あとの対策で少しでもジャンボタニシの個体数を少なくすることが大切です。
また、ジャンボタニシの弱点でもある『寒い環境では生きられない』ことを利用して
厳寒期の冬にジャンボタニシ対策を踏まえて耕起作業を行いましょう！！

石灰窒素を使用したジャンボタニシ対策

成分カルシウムシアナミドが水に触れると
シアナミドに分かれて有効成分に変化！

収穫あと

- ①ジャンボタニシの活動を促すために湛水状態を保ち3～4日放置します。
- ②石灰窒素を10aあたり20kg～30kgを全面にムラなく散布し、湛水状態を3～4日保ちます。
- ③田面水は用水路に流さず自然に落水し、田が乾いたのち浅めに耕起します。

ポイント！

- ベストはジャンボタニシ活動する水温15℃以上の時期に3～4日の湛水状態での散布。
(足あと水程度の湿潤状態でも、ある程度の効果はあり。)
- でも、この時期の水の確保は難しい。降雨を利用できれば・・・良いのですが・・・
水の確保ができない場合は、代かき前の散布をおすすめします！！
- 収穫あと散布は、稲ワラの腐熟促進にもなりメリットがあります。

地力UPにも！

田植え前

- ①荒起こし後、湛水状態を保ち3～4日放置します。
- ②石灰窒素を10aあたり20kg～30kgを全面にムラなく散布し、湛水状態を3～4日保ちます。
- ③代かきして2～3日おいて田植えしてください。

ポイント注意点！

- 収穫あとの時期に水の確保ができない場合には代かき前の施肥がオススメです。
- 石灰窒素散布から田植えまで7日以上あけましょう。
- 窒素が含まれているため、基肥量の調整が必要です。

倒伏に少し注意

冬季の耕起のポイント

- トラクター走行速度遅くする
- 回転数をできるだけ上げる
- 深さは浅くても良い



寒い時期の耕起作業も効果的！